

藤棚新聞



第15号

発行

2010年12月20日

藤棚新聞運営委員会

歌って、踊って、聞いて、見て、遊んで、学んで、楽しんで…

第9回名人達人まつり 2月26日(土)



得意の「技」を駆使してボランティア活動や各種サークルの講師、福祉活動に専念しているメンバーが、藤棚地区センターの協力を得て、日ごろの成果を区民のみなさんにご覧いただく「発表の場」、それが西区街の名人達人まつりです。

江戸紙切り、和太鼓、落語などの伝統芸能や、コンサート、フラダンス、口笛演奏はじめ手作り教室、紙芝居、各種体験講座や作品の展示、そして子どもコーナー、模擬店やフリーマーケットと多種多彩です。

自主運営の「まつり」ですから、幾度となく交流と打ち合わせをし、準備されています。藤棚地区センター全館を利用して、2011年2月26日(土) 午前10時スタートです。



上のイラストは「西区 街の名人・達人まつり」のポスターから。

気になるお店シリーズ

浅尾金物店



藤棚商店街の中央に浅尾金物店があります。お話ですと、浅間町を空襲で焼け出された先代が、化粧品と雑貨を扱うお店で働いていた経験を生かして戦後すぐに商売をはじめたようです。当初瀬戸物店を開こうとしていたようですが、割れないものがよいと考えを変え浅尾金物店の誕生となったそうです。当初は建築金物中心に商売をしていたようですが、徐々に家庭金物を扱うようになり今は合鍵から植木鉢まで…

藤棚には金物屋さんが多いなか、取り付け方や注意すべき事柄を丁寧に説明される店のご主人と明るい奥さんと、何かほっとする温かみを感じられるお店です。 (H生)

ふれあえるまち、住みやすい『まち』を目指して

第3地区町内会自治会協議会
会長 天笠 米蔵



第3地区町内会自治会の皆様には、日頃より地域活動にご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。

当地区は古くから栄えた3つの商店街を中心に住宅地があり、まち全体が静かで交通の便が良いことから、長く住み続けている人が多いといえます。そして急な坂や細い路地が多く、高齢者や障がい者が外出しにくい状態にあります。

また、多くの福祉施設(地区内8施設)ができました地区の特徴を生かして、さまざまな人がふれあえるまちを目指していけたらと思います。

現在、地域の課題解決を目指し、地域活動においてご尽力いただいている皆様、西区役所、西区社会福祉協議会、藤棚地域ケアプラザをはじめ各福祉施設の職員の方々とともに地区懇談会を開催しています。

今後は具体的に取り組む中で、さまざまな形で地域の皆様のお力をお借りしていくこととなります。さらに住みやすい『まち』を目指すために、できることから一つ一つ着実に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご理解、ご協力のほどをよろしくお願い致します。



アロハ～

稲荷台小学校コミュニティハウス



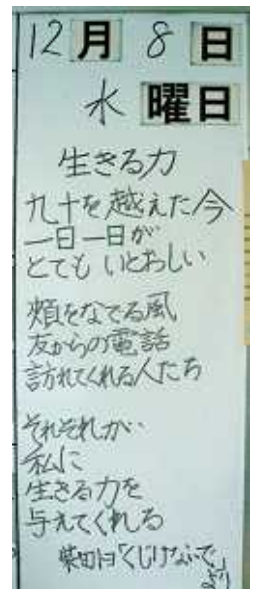
さくら会の活動

稲荷台小学校と一緒の場所にある稲荷台小学校コミュニティハウスは出来ておよそ20年目になります。

長寿社会を迎えることに備えて、地域の方々の生涯学習や地域活動、また学校と地域の方々の交流や連携を深めることを目的とした、気軽に利用できる施設として作られています。今年度は16の自主事業で子どもから大人まで楽しんでいきます。和室と研修室は、火～木、土、日曜日に、図書コーナーは土、日曜日に利用できます。

校庭と体育館は稲荷台小文化・スポーツクラブに登録し運営費をはらって利用できます。

館長の榎本寛子さんは勤務して4年、「ことしは65歳以上の男性の利用者も少しずつ増えてきています。11月13, 14日に実施した第18回文化祭では地域の人たちや利用者の展示や演奏で盛り上がり、同時に校庭で開かれたPTAバザーも大賑わいでした」と言っていました。玄関にあるホワイトボード(写真右)には時節の言葉などが書きこんであります。今は柴田トヨさんの「くじけないで」からでした。文化祭で寄せられた来場者の声を『稲荷台小学校コミュニティハウスだより12月号』から転載してご紹介します。



- ・飾っていただだけでも喜びを感じ、幸せを感じます。そしてなお、いろんな分野のものを手掛けていきたいと思っています。
- ・このような活動があることを知りませんでした。今度は参加したいと思います。
- ・意外にたくさんの作品があり、楽しかった。作者のコメントがあるととっても楽しいと思う。

こんにちは、グループ! 「トール・アマリリス」



10人ほどのメンバーが熱心に筆を動かしていました。ここはいろいろなスタイルの作品づくりを、マイペースで楽しんでいるトールペイントのグループ、指導



されているのは、親切で、丁寧と評判の高野圭子さんは、(財)日本手芸普及協会ペイント部門の講師、米国SDP会員でもあるトールペイント作家です。

細かい色付けに時がたつのを忘れるほど集中している人、楽しそうにパンジーを描いている人、クリスマスツリーを描いている人、みなさん熱心に作品づくりをしていました。

おもに藤棚地区センターを利用して、昼のクラスと夜のクラスがあるそうです。

へそ祭り 10/28(木)~11/7(日) と

ハートフル商店街 10/31(日)・11月3日(水・祝)

藤棚地区商店街連合会による第24回へそ祭りが実施されました。ほぼ同じ時期に西区役所によるハートフル商店(共催:藤棚地区商店街連合会、西区社会福祉協議会)がこれと協働する形で、「誰もが住みやすいまちをめざして」行われました。



お囃子と神輿の勇壮な渡御



中国雑技芸術団の息をのむ演技



関東学院大のマーチングバンド

愛らしい利正寺保育園児の演奏



障がい者週間キャンペーン

きて・みて・知って・つながって 12月3日(金)～12日(日)

国際障害者デーで、障害者基本法の公布日でもある12月3日から国際連合で「障害者の権利宣言」が採択された12月9日までの1週間は「障害者週間」と定められています。

西区では障がい者週間キャンペーンとして区内14福祉施設が参加したスタンプラリーが実施されて、期間中は西区福祉保健活動拠点においても、障害者団体や障害関係施設のパネル展示が行われました。西区地域活動ホームでは、「ふれあい祭り」で餅つきや作品展示なども行われたほか、スタンプラリーのゴールイベントとして、カレーが提供されました。

また、西区福祉保健活動拠点で行われた「活動紹介」では、障害者の方から『私の日常』と題して『病気、私の前に出るな。私の後についてこい』ととても勇気づけられる話がありました。その他、みらい工房ではメンバーさんと一緒にエコクラフトのコスターをつくり、生活創造空間にまでは「ランチタイムコンサート」、ゆめづくり三番館・無限夢工房・どリーむ横浜二番館では作業所体験&1日喫茶が実施されました。



ゆめづくり三番館の入り口には『本日作業所解放デー』という案内が貼ってありました。

コラボフェスタ2010 活動の成果を発表!



活動経過のプレゼン

参加16団体のパネル展示の一部



活動団体の協働で地域につながりを作り、まちを元気にしようというコラボフェスタ2010が横浜市市民活動支援センターで活動の経過を報告しました。
プレゼン：12月4日(土)
展示：1月14日(金)
17時まで

寛ぎサロン 菜月の自然食材で調理 ～お楽しみ会参加者募集中～

日時：11.15(土)10:00～14:30
場所：藤棚地区センター 3階料理室
参加費：500円
お申込みは「寛ぎサロン」事務局：三輪雅代
TEL・FAX:045-320-3283
または「菜月」TEL・FAX:045-261-1052
主催 寛ぎサロン(主宰 三輪雅代)
後援 精神障害者就労支援の会(菜月)
協力 地域活動支援センター
エプロンよこはま(精神障害者地域作業所型)



メニュー
あすなる米(早採玄米)のご飯、
みそ汁、とうふ、
ステーキ、野菜の
あんかけ、ひじきの
煮物、有機栽培
コーヒー、懐かし
いお菓子



精神障がい者就労支援の取り組みをしている場や、就労を目指す障がいをもった人たちを応援する活動を知ってください。
(にこまち助成金を申請中です)

歌声広場

第3回 みんなで楽しく歌う 歌声広場



2月6日(日)13時30分～15時
西前コミュニティ和室(椅子席)
会費300円(事前申し込み)
主催:音楽ボランティア 一座にし
後援:西前コミュニティハウス



申し込み:
045-311-8043

いっしょに藤棚新聞を作りませんか。取材・写真・編集・印刷・配布をします。また、広告の掲載も募集しています。下記の藤棚新聞運営委員会にご連絡ください。

【発行】藤棚新聞運営委員会 〒220-0053 横浜市西区藤棚町1-99-4【電話/ファクス】045-261-1052